

茅野市民館・茅野市美術館の「ホット」な話題をお届けします

リ・シンビズム

Re-SHINBISM 2 そして未来へ

7/28(日)～9/1(日) 10:00-18:00

茅野市美術館 火曜休館

入場料：一般 500円、高校生以下 無料
※20名以上の団体は1人300円
※障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方と付添の方1名は無料

出品作家

- 上田謙二 (ミクストメディア)
- 越ちひろ (絵画)
- 西澤千晴 (絵画)
- Yoshimi Hayashi (インスタレーション)
- 山上渡 (絵画、立体インスタレーション)
- 伊藤純代 (彫刻)
- 伊藤三園 (切り絵)
- カミジヨウミカ (絵画、ミクストメディア)
- OZ-尾頭-山口佳祐 (絵画、パフォーマンス)
- 末永恵理 (油彩)
- 橋本遥 (漆芸)
- 山内悠 (写真)
- 齋藤春佳 (絵画、インスタレーション)
- 高木こずえ (写真)
- 中村眞美子 (版画)
- 藤野貴則 (陶芸)
- 山上晃葉 (ソフト・スカルプチュア、ペインティング)



東御市、辰野町、安曇野市、須坂市の4会場で開催された、2018年度の「シンビズム2」より。ワークショップやギャラリートークなど、作家と交流する関連企画も開催されました。

茅野市美術館を会場に、7月28日(日)から始まる「Re-SHINBISM(リ・シンビズム)2 そして未来へ」。長野県内の美術館などの学芸員が連携し、県にゆかりのある多様なジャンルの現代美術作家を取り上げる展覧会です。

長野県芸術監督団事業の一環で始まった「SHINBISM(シンビズム)」。「信州の美術の主眼」という意味の造語で、「新しい美術」「真の美術」「親しい美術」といった意味も込められているそうです。県内の学芸員が館の枠を超えて協働し、地域住民と作家・作品をつなぐ、いわばミュージアムのネットワークとして、2017～2023年度まで5回の展覧会を開催。計18会場で全75名の作家を紹介してきました。

2022年度には、「シンビズム」で取り上げた作家が現在どのような作品を手がけているか、「再び」という意味を持つ「Re」を掲げた企画展「リ・シンビズム1」が開かれました。茅野市美術館でこの夏開かれる「リ・シンビズム2」では、2018年度の第2回展で県内4館に展示した作家たちに再び焦点をあてます。

さまざまな美術に触れ、これまでの流れを振り返るとともに、今を見つめる。多彩な作品が一堂に集まる機会です。どうぞ楽しみにお待ちしております。

長野県の現代美術作家の作品を茅野で

茅野市民館 指定管理者
株式会社地域文化創造



〒391-0002

長野県茅野市塚原一丁目1番1号

TEL 0266-82-8222

FAX 0266-82-8223

休館日：火曜日(祝日の場合、翌平日)

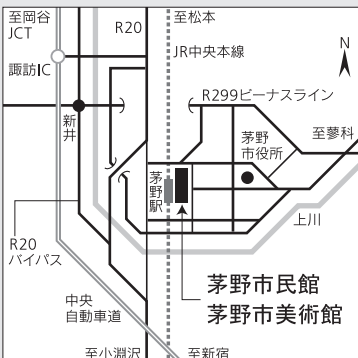
年末年始(12/29～1/3)

開館時間 9:00～20:00

※施設利用のある場合は22:00まで

図書室 9:00～19:00

<http://www.chinoshiminkan.jp/>



主催：信州アーツカウンシル(一財)長野県文化振興事業団、長野県
共同主催：茅野市美術館、茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造
共催：東御市、小海町教育委員会、信濃毎日新聞社
助成：令和六年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業、一般財団法人地域創造



情報紙「わっか Vol.2」
配布しています!



表紙は芸能・舞台芸術で活躍中!
原田フニャオ×古今亭雛菊×松本幸才

市民がレポーターになってお届けしている情報紙「わっか」。第2号は「地域発!」フレッシュ世代の皆さんにインタビューしました。ほかに、市民館でのアートなできごとや、数々のコラムなどの記事を掲載しています。

号外の「かわら版」では
蓼科高原音楽祭に登場
する調律師・五味さん
をピックアップ。



茅野市民館サークル
Instagramはこちら →
[@chinoshiminkan_circle](https://www.instagram.com/chinoshiminkan_circle)

